



連結業績ハイライト

2009年4月1日～2009年6月30日

※ 金額は表示単位未満の端数を切り捨てています。

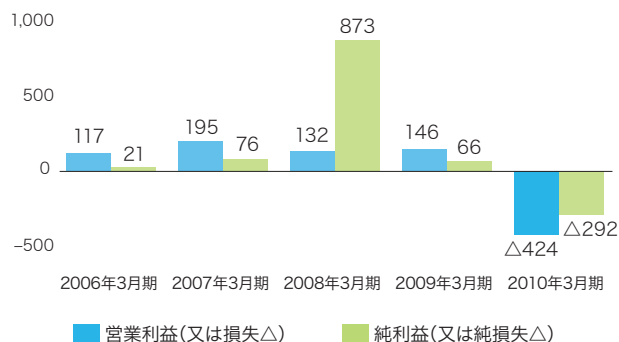
景気低迷と新型インフルエンザの影響で大幅な減収、純損失を計上

- 航空需要が近年になく落ち込んだ結果、営業収入は大幅な減収となり、2,698億円（前年同期比78.1%）にとどまりました。
- 需要の喚起を図るため、新たな営業割引運賃の導入などを行う一方、本年4月に運航規模の縮小や人件費の削減をはじめとするコスト削減策「緊急対策プラン」を策定し、着実に実施してまいりましたが、424億円の営業損失、494億円の経常損失、292億円の四半期純損失を計上するに至りました。
(詳細は5ページをご参照)
- 厳しい経営環境が続く中で、7月には「緊急収支改善策」を追加策定し、併せて実行しています。

経営成績 単位:億円	前第1 四半期	当第1 四半期	増減	前年同期比 (%)
営業収入	3,455	2,698	△756	78.1
営業費用	3,309	3,123	△186	94.4
営業利益(又は損失△)	146	△424	△570	—
営業外損益	△35	△70	△35	—
経常利益(又は損失△)	110	△494	△605	—
特別損益	9	14	4	154.5
四半期純利益(又は純損失△)	66	△292	△358	—

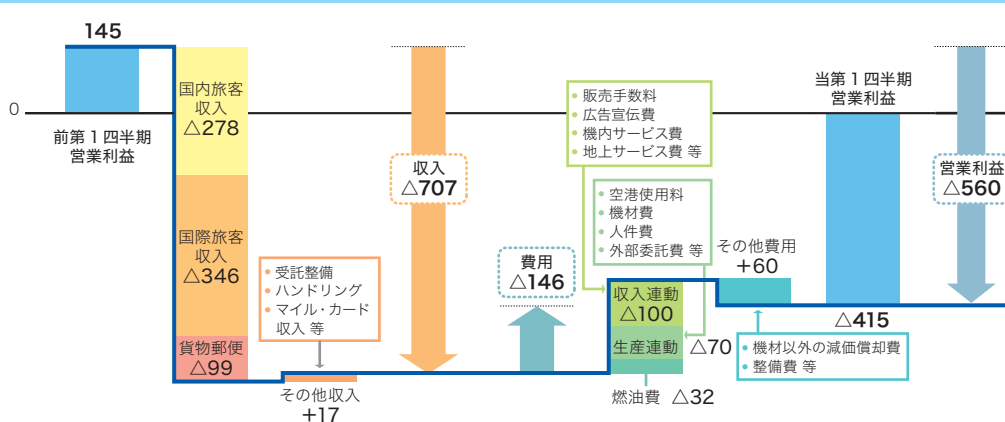
第1四半期の営業利益と純利益(5年間の推移)

単位:億円



当第1四半期の航空運送事業の収支(前年同期との比較)

単位:億円



航空運送事業の当第1四半期の実績は、前年同期と比較して収入は707億円の減収、費用は146億円の減少となっており、その結果、560億円の減益となりました。